

四万十町情報化推進（DX）計画（案）に対するパブリックコメントに提出された意見等に対する町の考え方（回答）

No.	意見		回答（町の考え方）	
	該当箇所 章 頁	意見の概要		
1	5	26	<p>マイナンバーカードについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの普及についてですが、とにかくカードを持つことの恩恵がわからないのが一番の問題だと思う。 ・行政手続においてはマイナンバーカードの提示による本人の承諾により、行政内の情報を町民が取得して別の部署に提出しなければならないような無駄を無くすのが良い。 ・少なくとも町が新たなシステムを検討するときには、その辺も考慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の方がマイナンバーカードを所有する事により便利となる為に、町が新たなシステム化を行う際には、マイナンバーカードの運用を前提とした業務フローを設計してまいります。 ・行政システムにおける独自領域の開発はコスト面から運用が難しいため、国の方針に従い汎用領域でできることを模索してまいります。 ・町職員の職員証について、マイナンバーカード一体型の職員証を導入予定です。まずは町職員自らがカードを保持することで、利用者の観点から各施策の実施、改善に臨む基盤を作ります。
2	5	37	<p>農業IoTについて</p> <p>農業用センサーについては高額でない、本町の規模でも導入しやすいものが色々あるため、導入を検討してはどうか。</p>	<p>価格および機能（保守サービス等を含む）が適切な機器について引き続き情報収集のうえ、検討を進めてまいります。</p>
3	5	37	<p>農業IoTについて</p> <p>農業用センサーの活用において、RTK、GPSの活用に必要な基準局は、町による整備をしてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町による通信設備設置の必要性を認識しており、数年前より検討を始めております。 ・費用対効果をより高めるため、農業以外の分野（防災・鳥獣対策等）でも利活用できることを目指し、引き続き設置に向けて取り組んでまいります。
4	5	37	<p>農業IoTについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付金等の申請において、各申請先（NOSAI、JA等に）それぞれに栽培履歴等の同じような内容を何度も記入し、提出することが大変煩雑である。 ・農地管理情報や栽培履歴情報を全町内で一元管理できれば、その手間が省ける。 ・農家がもともと保持している情報をそのまま各申請先に提出し、申請先の方で必要な形に加工して使用する等、効率化が必要と感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の改善が必要であると考えます。 ・異なる組織間のデータ連携は、各組織ごとの全体的な運営体制（JA全体等）による検討が必要です。 ・そのため実現には相応の時間を要することが想定されますが、まずは各組織に意見を上げ、検討を促すことから始めてまいります。
5	-	-	<p>パブリックコメントの意見フォームについて</p> <p>手書き以外の方法にも適したフォーマットにするよう、見直しが必要ではないか。</p>	<p>文書フォーマットの見直し、電子申請等のオンライン上のフォーム設置など、より使いやすいフォームの提供を進めてまいります。</p>
6	8	57	<p>推進体制について</p> <p>町には情報管理部門というものが独立して存在しないようである。まずは専門部署を作り、ネットワークやコンピュータの利用により、町民に利益の出る仕組みを四六時中検討し続ける事や、それらの作成、保守管理を行う部門が必要ではないか。</p>	<p>DX推進を行うには必要必要であると認識しておりますので、組織体制について、総務課人事担当及び執行部で検討してまいります。</p>
7	5	23	<p>県・他市町村との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体のDXを進めるにあたって、公共図書館を基点とする、もしくは連携をするといった記述がほぼ無い点が気になった。 ・「第5章計画の方向性 3その他の部分」に一行触れられたのみと受け取った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役場内で組織している「文化的施設整備推進プロジェクトチーム」の情報部会において、以下の整備を検討しております。 <ul style="list-style-type: none"> ・フリーWi-Fiの整備 ・デジタルアーカイブ ・デジタルサイネージ ・XR（VR、AR、MRなど） ・ポータルサイト 等 ・同施設の「情報システム構築に関する情報提供依頼（RFI）」を実施するなど、図書・美術に容易に親しむことのできる複合的な文化施設となるよう進めてまいります。 ・情報化（DX）推進計画内にもその旨盛り込んでまいります。
8	5	41	<p>教育の充実と子育て支援について</p> <p>プログラミング講師も不足しているが、ICT支援員や給与が不足しているのではないかと感じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールへの対応に関して、教育委員会とともに、民間から専門的知識を有する人材の登用や、支援を受けることを検討しております。 ・その際には、待遇について改善を検討してまいります。
9	5	19	<p>AI議事録の本格稼働について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な議事録作成は必要と考えるが、その前段で議会での傍聴やケーブルテレビのみの配信では議会を見ることが出来ない世代や層が多くなる。 ・より多くの町民に政治、行政参加の関心をもってもらうとすればYouTube配信などの動画配信、録画、再生に踏み込んでほしい。 	<p>町議会のYouTube配信を町議会事務局と検討いたします。</p>
10	-	-	<p>情報化推進計画の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な方向について示唆している計画がゆえに、全体的に抽象的である。そのため計画内容を具体化するときには、関係者へのインタビューを実施して優先順位を策定して対応していかないと実現は難しいと感じた。 ・実現に向けて様々な業務対応を兼ねながらの推進になるかと思うが、DX推進のためのプロジェクトチームを発足させ、意見を言うだけでなく実作業もできる外部の専門家を取り入れながら目指している姿が達成されることを望みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各施策についてアンケート調査（電子申請システムを利用）を実施し、その結果を踏まえ優先度を策定したうえで推進してまいります。 ・各施策の実行推進につきましては、各課から選抜した職員で組織するプロジェクトチームを発足しております。 ・総務省地域情報化アドバイザーおよび民間企業からの専門家の参画のもと、本計画を推進しております。

四万十町情報化推進（DX）計画（案）に対するパブリックコメントに提出された意見等に対する町の考え方（回答）

No.	意見		意見の概要	回答（町の考え方）
	該当箇所 章	頁		
11	1	3	デジタルデバイス解消について 「デジタルなんか必要ない」と言っている人に対して、スマホサポーター制度以外にどのように対策していくのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・町として町民の皆様へ提供する情報の中で、まずは防災情報を確実に届けることが必須であると考えており、そのためにはデジタル技術の活用が不可欠です。 ・デジタル化に拒否感のある方への対応につきましては、他自治体の効果的な取り組みを参考に、対策を練ってまいります。 ・なおスマートフォンサポーターによる支援につきましては、支援を受けた方からの口コミやケーブルテレビで支援の様子を放映するなど、「使いたい」と思っただけのような施策を継続的に進めてまいります。
12	1	7	DXの説明について 「DXによって今まで一人でできる仕事の範囲を広がることによって、労働力不足の解消に寄与できる。」という文言を追記してはどうか。	当該項目につきまして、ご指摘の内容を追記いたします。
13	3	14	計画ビジョンが目指すまちについて ・「こどもたちが未来を描け、住みつけたいくなるまち」というのは、デジタル技術を使った教育を充実させるということを示唆しているのか。 上4つの文言からすると、カテゴリーが異なるように思えた。 ・「こどもたちにデジタル技術を伝え、次世代の四万十町の担い手を創出する」というIT技術の使い手を増やして大きさに言うと日本のシリコンバレーになるくらいの実力ある街にする目標を目指すのはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「こどもたちが未来を描け、住みつけたいくなるまち」とは、デジタル技術を使った教育を充実させることも含めております。 ・当該項目につきましては、ご提案いただきました「こどもたちにデジタル技術を伝え、次世代の四万十町の担い手を創出する」とさせていただきます。
14	5	32	ネットワークのセキュリティと情報の適切な取り扱いについて ・同じ町内にBCPサイトを設けることによって、データは保護されるのか？ ・企業だと東京がメインとしたら、大阪にBCPサイトを置いたりするケースもあるが地理的に離れた場所へBCPサイトを設置しなかったのはなぜか。 ・今後ガバメントクラウド上にBCPサイトを構築できるのなら、検討してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域（東日本等）拠点を置くことを検討いたしましたが、通信回線および費用の観点から断念せざるを得ませんでした。そのため、現時点でできる対策として町内に設置した経緯がございます。 ・ガバメントクラウド上にBCPサイトを構築できるかどうかを、デジタル庁などからの状況収集を行いながら現在検討中です。
15	5	37	農業のIoT化について ラズベリーパイを使って収穫した農作物の仕分けをさせるなど、農業のIoTを実現させるのはどうか。	新たな技術について、情報収集のうえ検討してまいります。
16	5	37	農業のIoT化について 画像データの蓄積について、他の自治体とも連携しやすいようにフォーマットを取り決めて互換性があるものにする、コスト削減にも繋がる。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施しております画像解析システム（データ）に関しては、県内他自治体と同一のものを利用し連携（情報交換）しております。 ・また、今後はAI画像解析など新たな技術も出てくる事が想定されますので情報収集を行いながら推進していきます。
17	5	48	庁内ネットワーク無線化について 庁内だけでなく、町内主要な観光スポットへ専用のアプリを使ってWi-Fiへ接続できるようなサービスを提供する。 そこから、観光客の位置情報から四万十町における観光の動線調査のためにデータを活用してはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースポットWiFi整備に関しては県内でもトップクラスの整備率です。 ・高速道路の延伸を控え、観光客の動線調査の必要性を認識しております。 ・フリースポットWiFi専用アプリ化を町独自で行うには相当なコストも必要である為、観光客などの動線などに関しては、「地域経済に関する様々なデータの分析」を行なう経済産業省RESASなどを利用することを想定しております。
18	5	44	オープンデータについて オープンデータとして公開するデータの形式が決まっているのであればそのフォーマットに準拠して公開してほしい。	<p>オープンデータに関しては「デジタル庁 推奨データセット」を利用いたします。 なお、推奨データセットに該当しないものは四万十町独自形式となります。 【参考URL】 https://www.digital.go.jp/resources/data_dataset/</p>
19	8	57	推進体制について 利用者のニーズから戦略を決め、長期的な視点でのプロジェクト計画をウォーターフロント型で立て、前提条件を振り返りながら長期的な取り組みを実現できるように管理し、個々のプロジェクトにおいてPDCAを素早く回す案件においては、アジャイル型のプロジェクト管理で推進してはどうか。	本計画をより強力に推進できるよう、ご意見を参考にさせていただきます。
20	-	-	IT関連の仕事に従事していない人から見るとわかりにくい言葉が見受けられる、計画案から計画書へ更新する際には、用語集があると良いのではないかと。	本計画書第1版には、用語集を追加いたします。